

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど) ■実施した □実施していない	
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容	担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境学習に関すること	地域の環境や地球環境の保全について学習します。(環境学習)	1 ・栽培活動(さつまいも・朝顔・チューリップなど) ・緑のカーテン(ゴーヤなど)	1・2年教職員	児童 教職員	1年生はアサガオとさつまいも、チューリップを栽培した。さつまいもは収穫後、蔓を使ってリースを作った。 2年生は夏にキュウリやナス、トマト、ピーマン、オクラ、冬に大根や人参を栽培し、観察記録をとった。 3・4年生は、ゴーヤ、ホウセンカ、ヒマワリ等を栽培し、観察記録をとって学習した。 4年生の水道学習では、柳島水再生センターへ行き、下水処理について学んだ。 ごみの学習では4年生が環境事業センターを見学し、ごみの処理の工程や最終的な処分の方法などを学んだ。 また、環境事業センターのアートプロジェクトに参加し、リサイクル等についてのポスターを各クラスで作成し、環境事業センター内に貼ることで、地域に呼びかけた。 5年生は、朝日新聞社主催の「地球教室」で、UR都市機構の方を講師に呼び、団地の建設資材がリサイクルされて再生材として使われていることを知り、環境問題について考えた。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 各学年での栽培活動を通して、環境について興味を持たせられた。 4年生が取り組んだアートプロジェクトは地域にも貢献できた。 【今後の課題】 校外学習や出前授業だけに終わらせないで、環境について考える学習に取り組ませたい。 【次年度への引継ぎ事項】 ・地域の方のアドバイスにより、畑の連作をしないようにする。
		2 ・栽培活動 (ゴーヤ・オクラ・ホウセンカ等)	3・4年教職員	児童 教職員		
		3 ・上下水道の学習	4年教職員	児童 教職員		
		4 ・ごみの学習	4年教職員	児童 教職員		
省エネルギーの推進	電気を大切にします。 (省エネ)	1 ・未使用教室、トイレ等の徹底した消灯	全職員 全児童	児童 教職員	・放課後や移動教室で教室を空けるときも消灯する。 ・授業中や休み時間など廊下を歩いている時に使っていない教室やトイレの電気を消す。 ・ポットのお湯は、なくなったら水を足すかコンセントを抜く。 ・放課後の見回りや、各教室のエアコンがつけっぱなしのクラスがある。 ・各教室のモニターのコンセントを、入れっぱなしのクラスと、使用していないときは抜いているクラスがある。 ・蛇口をきちんと閉めるように児童に指導するとともに、蛇口から水が出ているところを見かけたら、すぐに閉める。 ・持ち物の記入や最後まで使うことの大切さを指導する。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 誰もいない場所の電気やエアコンがついたままになっていることがあったから。 【今後の課題】 ・節電に関して、子どもたちも教職員も意識して取り組む。 ・エアコンは一斉で電源を入れることがあったため、使用していない教室の電源が入った状態になっていた。 【次年度への引継ぎ事項】 日中の教室を空けるときや放課後に教室を離れる時にはこまめに消灯したり、エアコンの電源を消したりする。
		2 ・長時間使用しない電気機器はコンセントを抜く。	全職員	児童 教職員		
省資源 ・4R ・廃棄物削減 捨てる ごみを 減らす	水、紙などの資源を大切にします。(省資源) リサイクルに努め廃棄物を削減します。 (廃棄物削減)	1 ・水道使用時の蛇口開閉の徹底。	全職員 全児童	児童 教職員	・紙での配付物を「学級だより」と「学年だより」に絞り、その他の配付物については、デジタル化した。 ・コピー用紙やインクカートリッジ、マスター等を節約するように呼びかけ、全職員で意識して使用する。 ・裏紙の利用においては、ファックス用、電話対応時のメモ帳、教職員配付用にして再利用した。 ・ごみの分別について各クラスで児童に伝えて実践し、教職員もきちんと分別したり、自分のごみち帰ったりした。 ・残食を減らすために、配膳時は自分が食べられる量だけ取るようにし、食べ切ってからおかわりすることを徹底した。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 ・おたよりのデジタル化を進めることができた。 ・リサイクルの意識をもって節約を心がけて実践した。 【今後の課題】 引き続き無駄づかいにならないように注意していく必要がある。 ・限られた予算内で、用紙代やコピー関係の物品代を購入しているので無駄にならないように気をつける。 ・ごみ分別や整理整頓に心がけて気持ちのよい環境を整える。
		2 ・持ち物に記名し、最後まで使う習慣の定着	全職員 全児童	児童 教職員		
		3 ・印刷やコピーの無駄の削減	全職員	教職員		
		4 ・リサイクル分別収集区分と容器の整理	全職員 全児童	児童 教職員		
		5 ・捨てるごみとリサイクル資源の確実な分別	全職員	児童 教職員		
		6 ・給食残量を減らす	全職員 全児童	児童 教職員		

●写真等の記録：活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



4年 アートプロジェクトへの取り組み



1年 アサガオの観察の様子



2年 栽培活動の様子



4年 ゴミの学習（環境事業センター）



5年 環境学習「地球教室」
(リサイクル材から環境問題を考える)

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】

茅ヶ崎市立今宿小学校 校長 奥谷 みさ

【今後の方向性について】

来年度も、環境学習を含めエコ活動を進めていく。

年度の活動では、4年生が環境事業センターのアートプロジェクトに参加できたことは、子どもたちにとって大きな経験となった。自分たちが呼びかける側として、考え、自分たちの思いを表現し発信する中でリサイクルについて深く学び、リサイクルに高い意識をもてるようになった。

5年生の「地球教室」では、新たなリサイクルの視点を学ぶことができていた。

省エネルギーの部分では、まだまだ改善していくべきところがあるため、引き続き意識を高め学校全体で取り組んでいきたい。